

— 活気あふれる —
朝日青果市場の朝市

古くから菜食主義をもつて任じてきた日本も、終戦後アメリカ文化的な食生活を取り入れ、肉食主義へ大きく転換し、学校給食などの影響もともなって、日本人の体位は著しく向上したと言われている。

しかし、肉食主義もさることながら、アメリカ、ヨーロッパでは、近年、生野菜や生ジュースなどを大量に摂取する食生活に変わってきていると、視察から帰った日本人の異口同音に言うことばである。

近年、日本人の野菜摂取の傾向も、従来の方特有の単一的な摂取に止まらず、文化の向上と共に、各種多岐にわたり、摂取量も年々増加している。

昔は大雪になると野菜の流入が途絶し、とたんに価格が暴騰するのが普通であった。

国道8号線の開通に伴い、魚津に本社を有する①株式会社新川青果食品市場が朝日町にその分場を設けたのは昭和39年8月であるが、富山県の東端の拠点である当朝日町に、市場拡張を目ざして創設以来、そさい、果実等の供給に、めざましい活動を示している。

なお、当町進出の最も大きな目的は、当町周辺の生産地から出荷される、青果物の集荷供給にあるが、現在主な生産地は、山崎、細野、三枚橋などで、町外では入善地区、舟見、愛本新

などからも各種のそれぞれ季節に応じた果実類が出荷されている。

これら出荷された青果物は、県外産のものと共に、朝日、入善地区の青果小売業者の手を経て、消費者の食卓に供されるわけである。

ただ現在、前述のように生産地が限定されているため、多様なものが出荷される反面、量的には少なく、米の出荷奨励金制度の廃止などに関連し、農業の多角経営が改めて叫ばれるようになり、当市場では、そさい生産者の増加を希望している。

現在、市場には、県外からのものは四国、九州、近畿、東海、関東周辺、東北などの産物がさばかれており、年間利用高は8,000万円に及んでいるが、一方当朝日町内からの出荷額は、創立当初はわずか年間200万円くらいであったのが、現在、850万円にのぼっている。

なお、本社では、近く、新潟県糸魚川地区まで進出する計画がなされており、その際、取引高も1億円を上まわるものと予想されるが、それにしても、当地域は冬期多雪地帯であり、従って単作地帯としての自然的条件が大きく横たわっているものの、担当行政機関や指導機関の積極的な活動と併せて、農家自体の研究により、この際特に地元朝日町及びその周辺農村からのそさい類の出荷が期待されている。(編集委員 間部善治)

ご巡幸、九〇年ぶり

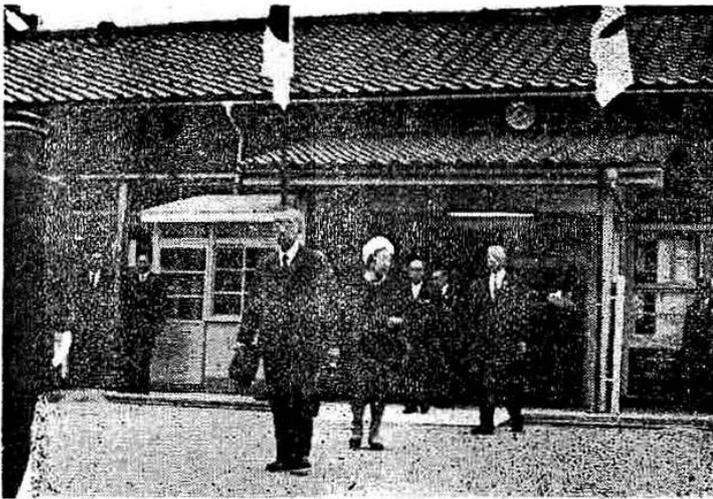
全国植樹祭にご臨席の

天皇・皇后両陛下

天皇、皇后両陛下には、第二十回全国植樹祭にご臨席のため、五月二十四日午後三時五十四分、吉田富山県知事はじめ県選出国會議員、中川朝日町長らのお迎えを受け、旅のお疲れの様子もみられず、元気なお姿で泊駅にお着きになられ、八十才以上の高令者と駅前広場をうづめる数百人の万才の歓声わきあがる祝福におこたえになりながら、お召自動車

〔写真 真〕

上―泊駅にお着きになつた両陛下
左―沿道をうづめる奉迎の人波



長崎四郎平氏に 林業功労者表彰

森林組合は団体表彰

天皇、皇后両陛下をお迎えしての第二十回全国植樹祭当日の国土緑化大会において、二十八年間も林業畑一筋に普及指導等地域林業振興に貢献された長崎四郎平さんは多年にわたる林業功労者として知事表彰を受けられました。また朝日町森林組合も緑化事業の推進に努力された功績が讃えられ、富山県緑化推進委員会より感謝状が贈呈されました。今後ますます、広大な長野をもつ朝日町の林業振興の指導者として、また指導団体としての一層の活躍が期待されます。

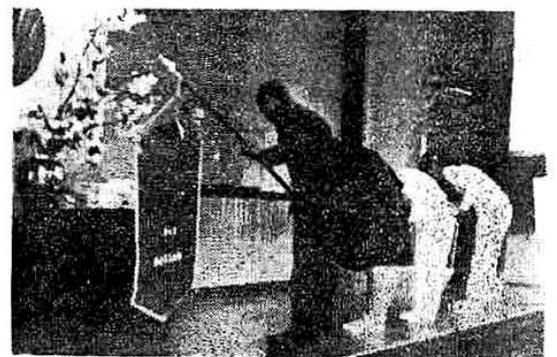
(産業課)

“輝く優良こども会”に 城山こども会・(宮崎)

子どもの日の五月五日、毎日新聞社、毎日小・中学生新聞が毎年行なっている「輝く優良こども会」を選ばれ、栄誉ある表彰を受けた。その伝言式が、五月六日、宮崎小学校で行なわれたが、表彰伝言式に先立ち、城山こども会では表彰旗を先頭に記念式を行なつて地区内を行進、住民から盛んな拍手を受けた。

(民生課)

写真下
伝言表彰式で毎日新聞富山支局長から表彰旗の授与



六月の人権身上相談

日時 六月十六日(月)
午後一時から四時まで
場所 朝日町職工会館
(総務課)

半生を野鳥と共に

下山喜太郎氏に農林大臣賞



五月十日、財団法人日本鳥類保護連盟総長陸宮殿下ご夫妻をお迎えして水戸市で開催され、田の下山喜太郎(写真)さんが、農林大臣賞を受賞されました。これについては、当時新聞紙上において詳細発表されたとおり、氏が野鳥の生態観察および研究と保護思想の啓蒙に尽くされた偉大な功績が認められたものです。(産業課)

明るい町づくりを呼びかける

中央公民館前に

二基の標語塔設置

このほど、朝日町中央公民館前に明るい町づくりをめざす二基の標語塔が設置された。

「明るく正しい選挙」を推進して住みよい町づくりをめざす「明正選挙標語塔」と、青少年健全育成で非行のない明るい町づくりをめざす「青少年を守る標語塔」で、高さ五メートルの三角塔にそれぞれ三つの標語が街行くひとびとに協力を訴えている。

明正選挙標語塔

昨年、朝日町が、「明るく正しい選挙推進モデル地区」として指定され、四カ年計画を立てて、けいもう、推進運動に取り組んでい

るが、標語塔は運動を推し進める旗印にと設置したもの。

選挙民のひとりひとりが、明るく正しい選挙推進協議会



街行く人々に明るい町づくりを呼びかける2基の標語塔

青少年を守る標語塔

昨年、旧地区が青少年活動推進特別地区として県の指定を受け(二カ年指定)、町ぐるみ青少年健全育成を目標に、取り組み組織の強化児童クラブの組織づくりをはじめ、広報研修活動等に取り組んでいるが、町ぐるみ運動を一層呼びかけるために、この標語塔を設置して、常時けいもうの拠点としようとするものである。

町民各位の一層のご協力を期待している。

明正選挙
第三日曜「家庭の日」
青少年を守るに町中総がかり
ひとの子もわが子も同じ愛の手
(朝日町青少年問題協議会)

創設二十周年を迎えた家庭裁判所

家庭裁判所は、家庭や親族に関する問題と、非行少年を専門的に取り扱う裁判所として、昭和二十四年一月一日に発足し、今年に創設二十周年にあたります。

この二十年間、家庭裁判所は「家庭に光を、少年に受を」をモットーに、国民のための裁判所として大きく成長し、昨年一年間に取り扱った事件は百数十万件を数え、また、家庭の問題や少年の非行などについての相談のために訪れた人は約三〇万人にのぼりました。

裁判所という名がついているために、なんだかこわいところ、いかめしいところと思っている人もかなりあるようですが、家庭裁判所は、どのようにすれば家庭が円満になり、非行少年が更生するかということに重きをおいて、なごやかな雰囲気のうちには手続を進め、たとえば離婚、扶養、遺産分割、改氏、改名の許可未成年者の養子縁組の許可などの、家庭や親族に関する問題と、二十歳にならない青少年が罪を犯したり犯すおそれがあるとき、社会の一員としてしっかりと更生できるよう教育し、指導をするという問題を主に取り扱っており、その手続は公開されませんから、個人や家庭の秘密はかたく守られます。

富山で家庭裁判所のあるところは富山、高岡、魚津、砺波、氷見の各市です。(少年事件は富山、高岡以外取り扱いません。)

家庭内のことで悩んでおられる方、家庭や親せきなどの少年の非行化などに心配のある方は、近くの裁判所にご相談ください。
(富山家庭裁判所)

七月十五日(予定)は 農業委員選挙

農業委員会の選挙による委員は三年の任期が満了となるため、来る七月十五日、全国一斉に公職選挙法に基づく選挙が行なわれる予定です。選挙区ごとの委員定数(現在十九名)及び選挙資格などについては後日連絡しますが、農地の利用調整や農業振興計画などの重要任務をお任せできる立派な代表者を選びましょう。
(選挙管理委員会)



絶対 秘密は 投票の 守られている

過去の選挙をみると、義理や人情に妨げられて、心ならぬ投票で、悔いた選挙をするのがどのつまらなくなつて、いつまでも明るい町への道が遠いというのが実態のよ

うに思われます。このような選挙から一日も早く脱皮してほしいもの。俗にいう選挙プロカーなる人たちは、票獲得のために依頼した投票は固く確認するのが常です。しかし、各自がだれに投票したかは決してわかるものではありません。選挙は無記名投票と法的に定まっています。自分の大切な権利を、選挙プロカーにまどわされることなく、自分の信する候補に一票を投じてください。誰に投票したかわかるというのは選挙プロカーの口車です。お互い、自分の信念を生かした正しい投票を守って、明るい社会の建設に努めたいものです。
(明るく正しい選挙推進協議会)

特集

明治100年を語る座談会

〔最終回〕

総合文化団体「白洋社」の活動と俳壇の隆昌

司会

大体、大正に入ってから、この青年団活動も、多少なりとも文化活動の一面をなってきたと考えますが、ここで一応、文化方面に目を向けてみたいと思います。

第一次世界大戦のあと、関東大震災、昭和になつて経済恐慌、それに満州事変、二、二六事件から大東亜戦突人と、長い期間にわたる、文化活動、それに戦後の文化運動というふう

に、文化活動という面から、スポーツ、演劇、文学、美術、あるいは音楽、その他娯楽一般と、そのような面から郷土をながめてみたいと思います。

それで、まず文学方面の活動につきましても、日本のな

場からみますと、ずっと明治の初期から新しい文学が起き、いわゆる明治大正文学が完成し、当地におきましても、明治の末期から大正にかけて、非常に文学的な活動が盛んになってきています。

聞くところによりますと、当地に白洋社というものが結成されました。亡くなられた金森精一さんとか、ここにおいでになる、大菅達二さんとかが関係しておられたように思いますが、その後について、広川さんなどが中心になって、県下の立派な歌壇もお築きになっていきますし、桐山におられた、長島勝正さんなど、しばしば、こちらへおいでになって、羨嘉郎さんなどと共に美術方面の活動もされております。

ことに、特筆したいのは、馬鬣クラブの活動ではないかと思つて、そのような総合的な立場から、一つ一つ簡単に、お話しをお伺いしたいと思います。

まず、大菅さん、明治から大正にかけて、文学的な活動をされたグループの活動について、お話しを願えませんか。

白洋社についてですが、これは広川さんなんかも、よくご存知と思いますが、大正の初めだったと思ひますが、大正の初めが中心でありまして、私は、当時まだ小僧っ子で同人にはなっていないから、この白洋社は、文化一般でありまして、機関雑誌も出しております。内容は、主に和歌だったと思ひます

が、広川さん、和歌だったですね。いや、和歌じゃないでしょう。大菅 俳句だったですか。広川 私、別に詳しく金森精一さんに聞いたことはなかったのですが、要するに、和歌をやる者は和歌、俳句をやる者は俳句、美術をやる者は美術というふうな、いわゆる、総合的な、文化団体だったらいいですね。何か一つに専念している人がいなくて、伊東さんのお兄さんも、確か、彫刻をやっておいでだったと思ひますが、とにかく、今で云えば、フリーに何でもやるといったような人たちが集まっていたようですね。金森さんも何でも自由にできる人でした。大菅

当時のグループで、生存している人は、柳沢南亭さん一人ですね。あの人は、絵を書いていましたからね。ま、いろんな人が、思い思いにやっただけですね。司会 当時何か、いわゆる、旧演劇的なものまでも、亀子座でやったとかというふうな話も……。大菅 いやいや、旧の演劇じゃなくてね。私は、その頃、東京におりましてね。白洋社の主催で演劇をやったんです。今でも記憶しておりますが、亀子座が満員になったものです。私、呼ばれた方でした。山田 「親鸞」と「父帰る」をやりましたね。司会 広川先生、それこそ私も、下っ

ばで走り使いをやらされて、仲間に入れてもらっていたんです。あの時代の「はしほみ」ができる前後の

文化活動みたいものです。……

俳人 金森立器の活躍

広川

それよりもね、泊でやはり文芸運動なら、いわゆる明治初期からずっと続いていたものが入るでしょうね。有名な金森立器、この人は、山形の人で、本姓は、海野というんですが、その時分まだ流浪の時代で、泊へこられて、金森精一さんの所で、お世話になってるうちに、名義は養子という形で、金森姓を名乗られたわけです。そして、金森立器という名で、地方の俳壇を指導されたんですが、一応停滞期に入っていたといいますが、むしろ生地に、かんばとか漆間とか俳句の得意な人がいたんです。それから魚津にも俳句の仲間が大分いたんで、それで泊では、あきたりないで云って、魚津へ移っておられるんです。しかし実質的に後援したのは、生地の田村という有力な、俳句作者で、亡くなる時は生地におられました。この伝統もあるし、それから九里さんの所に、何代目になるんですか。松亭という俳人がおられました。こういうような伝統から、稻香吟社というの、ずいっと続いているらしいです。稻香吟社と正式に発表したのは、遅いかもしれませんが、私も……そしてまあ、この稻香吟社、実力的に出てきたのは、松田素月でしょう。松田素月というのは、昔郵便局があった松田さんでしょうかね。よく知らないんですけども、何せ、これらの人達の流れが残っています。それから、俳壇だけでみていきますと、素月さんから、非常に流行して、中心人物が、横谷運北さんにきて、ここでまた一つの開隆期がきて

泊最初の文化団体 「だんわ会」

大菅

文化団体として、泊にはじめてできたのは「だんわ会」というものらしいですね。これがどんな文化活動をやったのかといいますが、いろいろな活動の中で特に例を引きますと九里愛雄さんなんか、京都の十津川なんかに行かれて、加藤謙次郎さんの事績を調査され、表彰まできちんとやったものです。謙次郎先生のことについては、町の人たちがあまり知らなかったことを、だんわ会がくわしくしらべて知らせたものです。それから、芸術家として平坂芳文を、その道の勉強させるために、作品の頒布会をやったりして資金面のことと押しをだんわ会がやっています。この資料なんか今でも私も持っています。

この「だんわ会」に入っていると、これは泊の文化人であるということであつたし、実質的な文化人である。……

ないと入れなかったのです。それから「だんわ会」の連続じゃないですが、「馬りようクラブ」も泊の唯一の文化団体で、これも誰でも入れるというものがなかったですね。「馬りようクラブ」の功績は何といってもスポーツの振興でしょ

県下有数の文化団体

「馬りようクラブ」の活躍

司会

伊東さん、「馬りようクラブ」の歴史、活動などについて簡単に話していただけますでしょうか。

伊東

そうですね。私は途中から入りまして、創設時代から入っておられる湊さんがよく知っておられると思います。が、「馬りようクラブ」の初代部長は草野やそう平さんで、そのあと亡くなられた本村本松さんが引き継がれ、そのあとを私が受けましたので、創設以来から入っておられる湊さんが一番くわしく知っておられると思います。

司会

それでは湊さんどうぞ……

湊

きょうは私はオブザーバーですか……
山田 いや、オブザーバーでもいいですよ(笑)

司会

草野先生の話も出て、大変なつかしと思うんですが……

大青

馬りようクラブの創始者は草野先生というのですが、先生は私の生家の隣りでして、おそろしく勉強家、少し声を出して、暇さえあれば勉強されていたものです。師範学校

います。いまではほとんどなくなっているようですが、県でも有名な団体だったですね。この二つの団体とそれに白洋社など、これらに刺激されて、現在活躍されている柚月芳氏や、その他の方々が出られる温床が作られていたと思いますね。

も出ない平教員だったですけど、この人の教育熱というか、人を感化する力というものが非常に大きかったのです。そんなわけで「馬りようクラブ」の中心になられたのでし

司会

湊さん、馬りようクラブの活動で何か特筆すべき事がありました……

湊

特筆すべき事は別にありませんが青年団の部外的団体としての特長な団体が出来たという発端は、加藤謙次郎先生を追悼、顕彰しようじゃないかということでした。それで、それに、いまお話のあった草野先生が……先生は当時代用教員だったんですが、最後は結核で亡くなりました。誰も看病する者がいないのでクラブの者が全部行って看病したのです。

司会

先生は自分で金を出して団体を育てようとして一生懸命になっておられました。クラブの建物はもうありません。クラブに入会するときはみんな生命保険に入れたものです。

大青

簡易保険だったんですが、満期すると二〇〇円あたる保険だったと思

います。が、会員が死んだらその保険金を全部寄付するという事になっていました。草野先生は孔子型の先生というか吉田松陰みたいな人で、代用教員で裕福ではなかったのですが、それでいてみみっちいことはしない人で、クラブを育てるのに自腹を切って頑張られたんです。そのように、私たちは、先生の非常な薫陶を受けたものです。そうこうするうちに先生は結核で亡くなられ、本村さんがあとを引きつがれたわけです。

城山—元湯を結ぶ観光自動車道路開発計画を立てた馬りようクラブ

大青

ついでに道場の話をどうぞ

湊

馬りよう山の道場ですか。あれは金もかかりました。自分の暇をひと月に十日や十五日つぶすのもへとも思わず建物を建てたものです。石を一個ずつ下から持ち運び、基礎をつくり、そして直径八間の建物を建てたんです。そのうちだんだん応援者も出、学校の生徒たちまで上まで木材を運んでくれました。

湊

県からも、「よくやる」というので、町を通さずに、直接補助をくれました。亡くなられた本村さんなんか、日本で三人か四人しかいない文部省の表彰を受けました。

伊藤

馬りようクラブがなぜスポーツに力を入れたかといえますと、とにかく人間の基礎は健康と明るい精神である、そのためには、現代はスポーツを、ということではじめたんです。それで箒球大会でもやって、大したことをやるもんだということを見せねばならないと、箒球大会

をやったんです。ただ、運動気遣いだからやったのではなく、何か泊町の人心を吸収してやろうじゃないか、とにかくこんな小さい団体でもこれだけのことが出来るんだということを示そうじゃないかということをやったんです。

当時、既に、泊をやがては観光都市として大きくせねばだめだということ、城山から裏山つたいに三降を通って、元湯の裏へ自動車道路をつけないければならないということ、運動したんですが、当時、時の鹿熊久安県議が、「県会議員の耳を通さずにはやるとは何事だ、応援した体育課長をクビにする、そういう役人がいてはだめだ」というようなことになったのですが……

まあ一つのエピソードですが、そのときに名古屋の鉄道局からわざわざきて、私と伊東さんが連れ立って、山の屋根つたいにまわって、何かできないかとたのんだことがあるんです。そのように、いまから考えると非常に血の気の多い時代だったものです。

とにかく、われわれの手で町を立派にしなれば誰がするんだという気魄をもってやったものです。

だから、こちらからももうよいなことをしなくても、まわりからどんでんくれましたよ。やはり社会教育においても、今後、私的な団体をよく育成することを考えなければだめだと思えます。

伊藤

今から考えますと、県知事さんなんかでも、私らの方でもよく招待したり、また県庁へも行ってよくお会いしたりしたのですが、何か当時の県知事さんと、いまの県知事さんとは大分ちがっているような感じがしますね。昔は気軽によくおいでになりましたよ。

細川嘉六氏と馬りようクラブのエピソード

湊

それから、これは細川嘉六さんの泊事件と合う話ですが……泊事件のとき、細川さんが紋左へおいでになったとき、私と伊東さんが細川さんをたずねて行ったんです。それはどうしてかと申しますと、私たちは加藤謙次郎先生を顕彰して、たんですが、勤王の志士という天皇陛下の方とか右とか左とかやかましく言われますが、私たちはそんなことに関係なく……私たちは先生を慕ってやっています。先生は三十六才で十津川で切腹されたわけですが、その理論は勤王か何か知りませんが、自分をぎせいにして何かをやるうとしておられた、その気持を慕ってやっていますのである。

細川さんも泊の方であり、われわれのやっていることがまちがっているかどうか聞こうと思って、大安寺を会場にしてクラブ員全部を集めておきからきてくださいと頼みにいったんです。

そのとき、隣の部屋に刑事が二人か三人いましたよ。

ところが、細川さんは、「君たちの言うことはわかるが、日本の国で一番尻の穴の小さいのは富山県だよ。この中でもまた小さいのは泊だ。そういうところで話をしてもわからんだろう」というわけなんです。

わからなくても、わかるまで聞かせてほしいとたのんだら、あす八時寺に行くという返事をもらって、大安寺にみんな集まることになっていました。ところが、八時頃に大安寺に行くとき、当時大安寺に竹やぶがあったんですが、その竹やぶの中に黒い人影がいくつも見えるんです。そ

して、大安寺へ入ろうとすると、警察がぐるりとかこんで中に入れようとしないうです。そんなわけで、とうとう解散させられ、細川先生の話もきけずに流会になってしまったわけです。

ところが、そのあと、細川さんは、泊事件で監獄へ三年ほど入られたんです。

細川
あれは監獄ではなくて拘留所ですよ。

凌
拘留所か監獄がよくわかりませんが(笑い)、とにかくそこを出られからず、細川さんの所へこられたんですね。

細川
終戦のときですね。

凌
そのとき、また、ぜひどうしても一度話をききたいというわけで迎えにいったんです。そしたら、いまはだめだというんです。どうしてかという、三年間も独房にいて誰ともしゃべらずにいると、しゃべるのが困難であるし、身体も衰弱しているし、とても馬りょう山の道場など行けないというわけです。それでも無理やりお願いして馬りょう山の道場へきてもらったのです。そして、われわれのやっていることは悪いことか良いことか、細川さんの意見をきいたんです。

細川
そのときはもう、刑事はいなかったでしょう。

凌
ええ、いませんでしたよ(笑い)

細川
細川さんは、泊の人間として、加藤謙次郎先生を顕彰するのはよろしいが、勤王とか、そういったことを復興するようなことはいけません。しゃべってました。

細川
ええ、いませんでしたよ(笑い)

細川
細川さんは、泊の人間として、加藤謙次郎先生を顕彰するのはよろしいが、勤王とか、そういったことを復興するようなことはいけません。しゃべってました。

細川
ええ、いませんでしたよ(笑い)

細川
細川さんは、泊の人間として、加藤謙次郎先生を顕彰するのはよろしいが、勤王とか、そういったことを復興するようなことはいけません。しゃべってました。

細川
ええ、いませんでしたよ(笑い)

いまだに続く芭蕉の句碑の論争 ——保護保存は文化人の手で——

司会

加藤先生、何かご意見があるようですか……

加藤
さきほど俳句の話ができましたが、元屋敷に芭蕉の句碑がありますね。

もど宮崎の役場がそこにあつたためきちんとしていたが、いまは草ぼうぼうになって放つてありますね。

あの芭蕉の句碑というのは、水橋にもあり氷見にもあるそうで、いまのところでは、氷見の方で詠んだという説が強いようですが、私ら朝日町から言いますと、芭蕉が越後から越中に入るとき市振で泊まっていたすね、そのときの句に「一つやに遊女と寝たり秋と月」というのがありますが、ちょうど早稲の匂いがあるの、早稲の香や分け入る右は有磯海」と、境から入ると早稲の香がし、その右手に有磯海が広がっていると、どうも元屋敷の芭蕉の句が本当らしいと私は考えるのですが……

細川
それは一応問題にはなっているんですけど、どうしても、あの「奥の細道」には、そう詠んで加賀に入ると書いてあるものだから、氷見から加賀に入った、そのときの日記にのっているものだから、文献から言うところには負けなんです。

私も身びいきに言わせると、やはり最初に早稲の香というものを感ずるのは、越後の隘路からパーッと出た途端であろうと思うんですが、記録がそうなっているものだから、また弟子の随行日記にも、どこで詠んだかというところは書いてないので

す。

四十八ヶ瀬を過ぎてスーッと行って、氷見を過ぎてから出ているものだから、これはどうしても負けなんです。

元屋敷のあの句碑は高田の俳人が作ったものでしてね。高田の人がどうしてここへきて、わざわざあの句碑を建てたかと考えますと、やはり芭蕉と同じ感じをここへきてうけたから、あそこへ建てたんだらうと思

うんです。つくったいきさつはよくわからないんですけど……

加藤
しかし、芭蕉は、越後から越中へ入って、それから加賀に行ったんでしょ。

加藤
ええ、そうです。

加藤
そうすると、早稲の香や、分け入る右は有磯海」というのは、どうもこちらが本当じゃなにかと……

細川
それはね、加藤さん、氷見の人に言わせると、やはり右に海が出るのですよ。(笑)これはわれわれが論じて仕方がないことで、細川さんのおっしゃることを信じるより仕方がないんですよ。

司会
いま、細川さんがおっしゃったようにですね、「奥の細道」にはそう書いてあるんですから、どうしても向こうの方が正しいととるより仕方がないと思います。

大嘗
石屋に言わせると、あの彫りは非常に立派なものだそうですね。それから、あの句碑をたすねて来る人がときどきあるんですが、あのように草むらの中にあるんで、探すのにも困るらしいんです。道路からもうとよく見るところへ出してもらいたいと思いますね。元屋敷の人たちによると、出せないというんで

す。

司会
信仰的な存在になってしまつて、あそこから動かすと、何かあたりがあるように言うんですね。あの地域の守り本尊のようになってい

ます。

加藤
そうなら、なおさら、草むしりでもして、いつもきちんとしておくべきだと思えますね。

細川
ああ、そうですか。句碑のどこを見ても書いてありませんね。

大嘗
石屋に言わせると、あの彫りは非常に立派なものだそうですね。それから、あの句碑をたすねて来る人がときどきあるんですが、あのように草むらの中にあるんで、探すのにも困るらしいんです。道路からもうとよく見るところへ出してもらいたいと思いますね。元屋敷の人たちによると、出せないというんで

す。

司会
信仰的な存在になってしまつて、あそこから動かすと、何かあたりがあるように言うんですね。あの地域の守り本尊のようになってい

ます。

加藤
そうなら、なおさら、草むしりでもして、いつもきちんとしておくべきだと思えますね。

細川
ああ、そうですか。句碑のどこを見ても書いてありませんね。

大嘗
石屋に言わせると、あの彫りは非常に立派なものだそうですね。それから、あの句碑をたすねて来る人がときどきあるんですが、あのように草むらの中にあるんで、探すのにも困るらしいんです。道路からもうとよく見るところへ出してもらいたいと思いますね。元屋敷の人たちによると、出せないというんで

す。

司会
信仰的な存在になってしまつて、あそこから動かすと、何かあたりがあるように言うんですね。あの地域の守り本尊のようになってい

ます。

加藤
そうなら、なおさら、草むしりでもして、いつもきちんとしておくべきだと思えますね。

細川
ああ、そうですか。句碑のどこを見ても書いてありませんね。

戦後のめざましい新劇運動

泊演劇研究会の活躍

司会

いろんな話が出まして、時間は予定を相当経過してありますが、最後に戦後の文化運動という面から、たと

えば、先ほどもちょっとふれましたように、音楽、文学、演劇、美術といった面にふれてみたいと思います

大平先生、戦後の娯楽の少なかった時代、そういった中における文化活動について何か一つ……

大平一
戦前戦後を通じて、全く娯楽のない青春を送ってきた私たちでしたが

共、泊演劇研究会を組織し、町でもたびたび公演をやったり、郡内は

終戦と同時に、言論の自由とか思想的な開放だとか、そういうことにあわせて、もう一つ、中央の一流の劇団などが、都会の大きな劇場が焼けてしまつて公演施設がない、そんなことから、私たちは、こんな小さな町へ前進座などの大きな劇団を呼んで公演をやったり、いまの収入役の阿部さんや、司会の間部先生、それに富山の県立図書館の館長代理をやっていたら、秋沢さんなどと

共、泊演劇研究会を組織し、町でもたびたび公演をやったり、郡内は

共、泊演劇研究会を組織し、町でもたびたび公演をやったり、郡内は

共、泊演劇研究会を組織し、町でもたびたび公演をやったり、郡内は

共、泊演劇研究会を組織し、町でもたびたび公演をやったり、郡内は

共、泊演劇研究会を組織し、町でもたびたび公演をやったり、郡内は

多数の芸術家を輩出している朝日町

—現在なお活躍中の文化人の顔ぶれ—

もちろん、遠く富山まで行って公演をやったものです。

もちろん、これは新劇でしたけれど、当時物資の不足な時代で、セツトを作る木材や、紙やえのぐなどもなかなか入手できず、お互い金を出し合っって苦労しながら公演をやったものです。そのうち、お互いに本職の方が忙がしくなつて衰微してきていますけれども、これらの活動は今でも若い層に受けつがれてやっています。かつてのわれわれのグループからは、テレビタレントの梅津栄

司会

文化運動につきましても、まだまだ広い分野で活躍された方も多くありまして、たとえば彫刻家の開発芳光さん、平坂芳文さん、現在活躍中の袖月芳さんなど、それに詩人として故人になられた舟川栄次郎さんの業績も忘れてはならないと思います。なお、俳人の片桐さん、稲香吟社の柳沢鈍牛さん、夫人の月波さん、そのほか、美術部門では豊秋半次さんも活躍されております。また亡くなられた、小坂勝人さんも立派な作品を残されています。歌人としての金森精一さんも先ほど話に出ましたがここにおいでになる広川親義さんなどは、現在の富山県の歌壇を築き上げられた方で、いまなお北日本歌壇の選者もやっつておいでになり、県の万葉顕彰会のお仕事もやっつておいでになります。また、書家として大平山崎さんも、最近東京の方へ出られ

君だとか、左幸子さん、それに佐渡さんなど、既にその道のベテランとして活躍しています。当時は富山県で最も活動的な演劇団体として、現在活躍中の富山市内の「演協」とかその他の団体に一歩もひけをとらぬ活動をなしていたものです。その後朝日町の演劇活動は、連合青年団の方へ受けつがれ、意欲的な活動をやっつていますが、町当局あたりも何らかの形で応援してもらいたいものだと思えます。

司会

まあ、現在盛んに活躍しておられる新進気鋭の方も続々とあとを次いで出ておられるし、学者の方も多く県内外で活躍されておられるわけですが……

またが、町の文化に大変貢献されております。芸能人として、先ほど大平先生の話に出ました左幸子さん梅津栄さん、そのほか音楽部門では現在富山大学で活躍しておられる黒坂富治さん、小沢慎一郎さんなど、みんな本町出身の方であります。今後共町の文化の向上に力を注いでいただきたいと思っております。

細川 間部さん、忘れてはならないことは、大正六年か七年頃、九月か十月に上野に文展が開かれたとき、私が見に行つて驚いたことは、入るなりこの町の人たちの作品がズバリと人選しているんです。開発芳光、佐々木大樹、それに長島勝正さんなんか並んでいられるんです。当時の文展なんか入選するのが容易じゃなかったんですよ。とにかく郷土作家の作品で会場を圧倒していましたよ。

司会

- 司 会**
- 間部 善治(あさひ編集委員)
- 出 席 者** (アイ・エス順)
- 伊東 礼三(公社重役) 文化運動その他
内島 よし(祝儀用品業) 風俗、習慣
小川 勇一(教育長) 教育
大宮 達二(中央公民館長) 文化、交通
大平 衛(教員) 戦後の文学演劇活動
大平 鉄治(呉服商) 商業、金融
加藤常次郎(元校長) 教育、文化
草野隆太郎(医師) 医療、保健
小沢 しげ(主婦) 風俗、習慣
田中 喜義(下宿業) 遊芸、娯楽
谷口松次郎(土建業)

- 政治運動
富岡 啓二(農業)
野島二郎(文化財調査委員、教員) 郷土史、主要事件
広川 親義(教育委員) 文学、美術
細川直次郎(茶舗) 文化運動とその人物
松本 弘(農業) 軍事
水島 富男(漁業) 漁業
水野 すな(婦人会長) 婦人会活動
湊 嘉郎(染物業) 文化運動
森 群平(文化財調査委員) 警察、行政、交通
山岡 源嗣(農業) 行政、政治
山崎 繁松(農業) 農業
山田 藩(元校長) 教育
楠木 ひさ(旅館業) 生活文化

明治百年を語る座談会の 記事を終るにあたって

十二月号以来連載しました明治百年の郷土を語る座談会記事は、本号をもって終ることになりました。連載以来、町民各位から、強い関心をもって迎えられ、その間、いろいろの意見や投書などおいただきました。ありがとうございました。

内容につきましては、時間、事実共に違っている点も多くあったと思えますが、それぞれ発言者の

ことばをそのまま記録掲載しましたので、その点ご理解ください。記事及び録音テープは、町において町史の資料の一端として長く保存、利用するつもりであります。長い間ご愛読ありがとうございました。

(あさひ編集委員 間部 善治) 座談会司会者

(おわり)

諸控除が引き上げに

税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律が四月九日に公布されたこととともない、朝日町税条例の一部が改正されました。

これは、地方税負担の現状にかんがみて、住民負担の軽減と合理化を図るために行なわれるもので、その主なるものは次のとおりです。

町民税は諸控除の引き上げによって、所得額に変わりが無い場合は少し安くなります。

(一)各種控除額

区 分	改 正 後	改 正 前
町民税基礎控除額	12万円	11万円
配偶者控除額	10万円	9万円
扶養控除額	6万円	5万円
寡婦控除額等	7万円	6万円
特別障害者控除額	9万円	8万円
白色事業専従者控除額	15万円	11万円
青色	完全給与制	17万円
障害者等非課税限度数	30万円	28万円

(二)町民税の特別徴収は今まで十カ月納付であったのが十二カ月納付になりました。

(三)軽自動車税に雪上車税額一、五〇〇円が追加されました。(税務課)

ぜいきんは

有利な前納を!!

年税額一萬円で二百五十円お返しします。

六月は町民税の納期です。お手もとの納税通知書でかんたんに前納ができます。

たとえば年税額一萬円の町民税を六月中に全納された時は、次のように報奨金を計算してお返しします。ぜいきんは有利な前納で豊かな家計を築きましょう。(税務課)

昭和四十四年度国家公務員

採用初級試験による

税務大学普通科入校案内

初級試験に合格して税務職員に採用された方は、実際の仕事に従事するに先立って、税務の専門教育を受けるために、採用と同時に税務大学普通科に入校し、約一カ年の研修を受け、卒業するとただちに大蔵事務官となつて国税の仕事に従事することになります。

町 県 民 税		納 期	税 額	前納	報 奨 金
一期(六月)	二、五〇〇円	一	二五円		
二期(八月)	二、五〇〇円	一	二五円		
三期(十月)	二、五〇〇円	三	七五円		
四期(二月)	二、五〇〇円	六	一五〇円		
報 奨 金 合 計			二五〇円		

事業所統計

調査にご協力を

総理府統計局では、七月一日から全国いっせいに事業所統計調査を行ないます。

この調査は、事務所、工場、商店、飲食店をはじめ、駅、学校、病院、神社、寺院にいたるまで、あらゆる種類の事業所について行なうもので、この調査から作られる統計は、国、都道府県、市町村での経済政策、地域開発計画、都市計画、地方交付金の算定などのために欠くことのできない基本的な資料として使用されます。七月一日から七月二十五日までの間に調査員がおうかがいしますからぜひご協力ください。(総務課)

受験手続等

受験資格

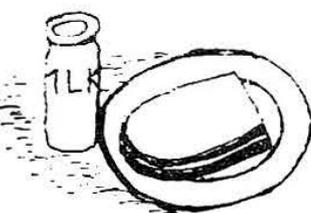
昭和二十四年四月二日から昭和二十七年四月一日までに生まれた男子

申込受付期間

昭和四十四年六月二十日から七月四日までに入事院中部事務局へ(名古屋市中区三ノ丸一の五の一)なお、申込用紙などは魚津税務署にあります。

詳細は魚津税務署総務課へ問い合わせください。(魚津税務署)

国民健康保険



狭 心 症

狭心症の発作は、ある日突然おこるのが普通です。しかし実際には、発作のおこる以前から冠状動脈に動脈硬化が進行しているのです。(心臓に血液の不足をおこす)発作のきっかけ

一般に食事のあと、からだを動かしたあと、精神的な緊張のために、心臓の鼓動の高まったときにおこります。

特徴は痛みと不安感、まず、かたい痛みが始まり、心臓にかたよった部分が、なにかつまるような圧迫されるような、しめつけられるような、痛みがおこります。人によってはのどをしめつけられるような、その痛みは、左肩から左腕の内側をとって、小指の先までひびくこともあります。いずれにしても、痛みはたえられないほどのものではありません。発作の時間は短かく、数秒間、おさまってしまえば、まったく忘れたようにケロリとします。この病気が危険性をともないますので、かならず医師の診察を受けましょう。

狭心症は危険な病気ですから、医師の指導のもとに生活することが大切。

(イ)重症の場合に入院

(ロ)軽症の場合、日常生活を規則的にし、過食、睡眠不足、精神的ストレスをさけるだけで、再び発作のおきないことがあります。

(ハ)運動は適度であれば害がありませんが、度をこすと発作をおこします。また、慎重になり過ぎて運動不足になると、心臓の力がおとろえ、体内の栄養が過剰になって脂肪がつきすぎ、動脈硬化をおこします。

(ニ)動物性脂肪に注意すること

(ホ)野菜、くだものは充分とること

(ヘ)酒は、強い不安感のある場合、コップに三分の一度の日本酒を注意しながら飲むのは、悪いとは言えません。

(ト)タバコはのまない方がよろしいと思います。

(チ)入浴——温度が高過ぎた場合よくありません。四〇度〜四一度がよい。

(リ)寒さ——冬の外出には保温に注意することが大切。

(民生課)

けで発作がおさまります。気分を転換させるため、ぬるい茶や、砂糖湯などのむのむのいい方法です。

(ウ)室温の調節——寒さの刺激による血圧の変動が発作の原因となります。室温を十八度〜二十三度にし、炭火の暖房はさけて、ガスや石油ストーブを用いるときは、換気に充分注意しましょう。

(エ)医師との連絡——医師の指示どおり心電図や診察を定期的に行うことが大切です。

療養と日常生活

狭心症は危険な病気ですから、医師の指導のもとに生活することが大切。



運搬車購入で機動力 増した理科教育センター

朝日町理科教育センターに運搬自動車が入り、機動力を生かした活動を展開している。

近年の経済の繁栄と自由化に伴い技術革新、科学教育の振興ということが大きく叫ばれて、朝日町でも理科教育振興のため、理科教育センターが設置されて七回目、以来条件整備の不十分の中で、その効果的な運営に最善の努力が続けられてきたがさらに強力な活動推進のため、センターに機動力が要請され、このたびの運搬車購入となったものである。

〔写真上〕
機動力が増して活動も充実
(教育委員会)

はかりの定期検査



計量法にもとづく「はかり」の定期検査を次のとおり実施しますから、必ず受けてください。

- ◇日程
- 七月四日 午前 大家庄農協
 - 〃 〃 午後 藤塚公民館
 - 〃 〃 午前 山崎農協
 - 〃 〃 午後 南保農協
 - 〃 〃 午前 桜町保育所
 - 〃 〃 午後 五箇庄農協

- ◇要領
- 定期検査は、取引証明に使用する計量器を対象とし、範囲は次のとおりです。
- 〃 九日 午前 笹川農協
 - 〃 〃 午後 宮崎小学校
 - 〃 十日 午前 境連絡所
 - 〃 〃 午後 中央公民館
 - ※午前10時から正午まで
 - 午後11時から三時まで

- 一、対象計量器
- (1) 工場、事業場、店舗、事務所 倉庫などで用いる計量器
 - (2) 病院、薬局で用いる調剤用計量器
 - (3) 病院、保健所、学校で用いる身体検査用計量器
 - (4) 供出米、配給米、農産物などに使用する計量器

- 二、対象とならない計量器
- (1) 畳屋、ガラス屋、大工、石工 建具屋、浴場の使用する計量器
 - (2) 家庭用計量器
 - 三 除外事業場
 - 国鉄、郵政、専売事業場、日本通運、食糧販売店
- (産業課)



充実した 団活動を めざして

第九回青研集会

朝日町連合青年団主催の第九回朝日町青年問題研究会は、五月二十四日、二十五日の両日、五箇庄小学校に約八〇名の男女団員が集まって開催された。

これは、複雑多岐な社会情勢の中にあつて、同じ地域に住む青年として団活動を行なっていく中で、どのようにして地域の諸問題に対処していけば良いかを、お互いの体験をも



あるけ、あるけ!!

朝日町教育委員会、朝日町体育協会主催の歩こう会々が、こどもの日の5月5日に実施され、泊地区の老若男女約80名が参加、役場前から城山頂上を経て、宮崎海岸への約6.5kmを歩いた。

参加者は、真夏を思わせる暑さをものともせず元気な歩き続け、野島二郎先生の「城山の歴史」に耳をかたむけ、名物タラ汁に舌つづみを打って快晴の1日を楽しんだ。

とに話し合い、その中から深く人間関係をつくり、青年の主体性を確立しようとする主旨のもので、参加した団員は、楽しい会食、キャンドルサービス、レクリエーションや記念講演を中にはさみ、「地域課題」、「組織と情宣」、「団活動とサークル」、「女子活動」の四分科会に分かれて真剣に討議を交わした。

最後の全体討議では、各分科会報告や質問がなされ、「青年団員から飲酒運転者を絶対に出さない」、「青年の城建設運動を強力に展開する」の二つの決議を採択して全日程を終えた。

〔写真上〕 分科会での討論風景
(朝日連合青年団)

町づくりの助け

をする簡易保険

簡易保険新加入運動実施中
郵便局の簡易保険は、年々順調に伸長し、その契約高は、七兆円に達

いまま郵便局では、簡易保険新加入運動を行なっています。

これは、簡易保険の資金を増加することによって、町への還元を増大し、町民の経済生活の安定と地域住民の福祉増進に寄与し、明るく住みよい町づくりに貢献しようとするものです。

〔朝日町役場〕
(泊 郵便局)

今月の税金は
町県民税 一期分です

自衛官募集中
問い合わせは役場総務課へ
(総務課)

農事教室



六、七月の天気予報

▽全般概況
天候の変動が大きく、特に六月後半から七月にかけて低温が現われやすく、七月には大雨も懸念されます

▽六月予報
月初めは暖かな日もありますが、半ば頃から冷たい高気圧におおわれ、低温の日が現われやすく、梅雨前線の活動も次第に活発となる。平均気温は低め、降水量は平年並み、日照りは平年並みか少なめ。

▽七月予報
前半は引きつづき梅雨前線が活動し、大雨のおそれがある。また梅雨

明けまでは低温もやすい。平均気温は低め、降水量は多め、日照りは少なめでしょう。

以上のように天気予報が出ていますので

青田まわりをして 稲作りを勉強しよう

稲は六月中頃までに分けつをとりに終わるべきです。それは、その時期以後に分けつしたものはみな、無効に分けつになるからです。だから、どんな品種でも、この頃から六月下旬までは追肥しないことです。この時期に追肥すると、基部の節間が伸びて倒伏しやすくなったり、軟弱になったり、あるいは過繁茂になるために、病害虫が発生しやすくなります。そこでこの時期の一日を休んで、部落や生産組合には是非青田まわりを行ない、稲作りを研究しあいましょう。草丈の伸び方、分けつの多少、葉色の濃淡、病害虫発生の有無等、あるいは種肥の施用時期や施用量、田干しの時期や程度、水のかけひき等、他の農家や農業技術者と話し合

い研究し合ってほしいと思います。特に、ことしは、うまい米を生産するために奨励品種ばかりに切りかえられており、奨励品種はとかく作りにくく、へたをする病害虫が発生しやすく、また稈が弱いから、倒伏して思わぬ減収する場合があります。充分勉強しましょう。

(入善農業改良普及所朝日支所)



内職巡回相談の開

家庭内職についての相談会が次のとおり開設されますので、気軽にご利用ください。

- 一、日時 六月二十五日 午後一時～三時半
- 一、場所 朝日町中央公民館
- 一、相談担当 富山県内職公共職業補導所

▽狩猟者講習会

鳥獣保護及び守猟法に基づき昭和四十四年度の狩猟者講習会を次のとおり実施しますから、希望者はお申し込みください。

- 日時 七月一日午前九時三〇分
- 会場 朝日町中央公民館
- 受講科目 狩猟に関する法令 狩猟鳥獣の判別 猟具の取扱
- 受講手数料 初心者 七〇〇円 経験者 四〇〇円
- 申込み先 朝日町役場産業課

申込みと同時に受講料及び写真ライカ版(六カ月以内のもの)持参。講習終了直後筆記試験を行ない、合格者には、免許資格が与えられる。なお当日は筆記用具、中食持参のこと。

(産業課)

▽行政相談案内

富山行政監察局主催による、巡回行政相談および行政懇談会が次のとおり開催されます。

この巡回行政相談および行政懇談会は、国や県、市町村の行政や公社、公団、事業団等の行なっている仕事に対する問題について皆様からの相談やご意見、要望をお聞きし、改善してゆこうとするために開催されるものです。

どんな小さな問題でも相談に応じますから、気軽にご利用ください。

日時 六月二十六日(木) 午後一時～四時

場所 朝日町中央公民館

・定例行政相談日

日時 毎月第一月曜日 午前十時～午後四時

場所 朝日町議会会議場 (町長室)

観光だより

▽朝日岳山開き

恒例の朝日岳の山開き登山会を次のとおり実施しますから多数参加ください。

期日 六月二十八日(土)～二十九日(日)

集合場所 小川温泉元湯前広場

集合時刻 当日午前八時

会費 一、〇〇〇円(外に米五合)

募集人員 五〇名(定員次第締切)

詳細については朝日町役場産業課

(電②一〇〇)に問い合わせください。(産業課)

▽朝日町観光地写真ポスター募集

応募要項

主 題 城山・宮崎県定公園区域内及び小川温泉元湯から朝日岳に至る自然景観、その他朝日町観光宣伝に価値あるもの。

作品(写真及びポスター) 白黒、カラー(四ツ切以上) 特にカラーを求む

〈ポスター〉B2版(五〇㎝×七〇㎝)以上

締切 十月二十五日

送付 朝日町役場産業課

詳細については産業課観光係にお問い合わせください。(産業課)

先月の交通事故

件数	十二件
死亡者	〇人
負傷者	十二人

(朝日町管内)

釣りだより

アユの解禁は六月十六日です。但し、打谷の第三号えん堤から上流は、「てんから、投網」の使用は禁止、「釣り」は一カ月遅れの七月十六日解禁です。

遊漁料は、高校生以上は毛針四〇〇円、友釣り用は六〇〇円、中学生二〇〇円、小学生一〇〇円です。

許可証の取扱いは、町内の各運動具店で行なっております。

(朝日町内水面漁業協同組合)



県定公園の大標識できる!

昨年未から作成に取りかかった県定公園標識が、5月20日、城山登り口と宮崎鹿島神社入口に完成した。これは、昨年4月、城山・宮崎地区一帯が県定公園に指定され、県費補助を受けて行なわれた事業の一つで、標識は高さ1.4米、巾2.5米の自然公園にふさわしい丸太で型取った大きなもので、「県定公園城山宮崎」と白字で刻まれている。(産業課)

編集兼発行	朝日町役場
印刷所	両越印刷
送料	六円
定価	六円